



令和4年9月15日

報道関係者各位

国立大学法人北海道国立大学機構
帯広畜産大学

**野生生物保全管理技術養成事業
野生生物保全管理講習会の開催について**

帯広畜産大学では、野生生物と人が共存し、持続可能で多様性のある社会実現を目指して平成29年度から「農業共生圏高度専門家育成事業」を実施してきましたが、本年度から名称を「野生生物保全管理技術養成事業」へと変更し、引き続き野生生物と人との軋轢を軽減・解消することを目的に事業を実施しております。

この度、事業の一環として、「野生生物保全管理講習会」を下記のとおり開催いたします。

前年度に引き続き、今年度もオンラインにて実施いたします。本事業の関係各所への周知につきまして、ご協力くださいますようお願いいたします。

記

1. 野生生物保全管理講習会の概要

人の活動は様々な面で野生生物に影響を与えており、種の減少・絶滅の主な要因となっています。一方で、野生生物による農畜産物への被害等、野生生物が人の活動に与える影響も少なくありません。特に十勝地方は農畜産物を基幹産業としており、人と野生生物がどのように関わっていくべきかが大きな課題となっています。ついては、野生生物と人が共存し、持続可能で多様性のある社会を実現するために、野生生物の保全と管理における正しい知識と技術を身につけた人材を養成することを目的にオンライン講習会を実施します。

※昨年まで実施していた野外実習は「野生生物野外調査講習会」として別途10月に実施し、本講習会では座学講義のみを実施しますのでご留意ください。

2. 日 時

令和4年11月 7日（月）13：00～17：20

11月14日（月）13：00～17：20

11月21日（月）13：00～17：30

3. 講習内容

野生生物（希少植物や水生生物含む）の管理や保全の方法について、法律学や野外調査時のリスク管理等全9講座実施いたします。希望する講座を1講座ずつ選択して受講することが可能です。詳細については添付の募集要項別紙をご参照ください。

4. 実施方法

Zoomによるオンライン実施

5. 募集人数

- ①グループワークを実施する講義 定員20名（別途本学学生10名予定）
- ②グループワークを実施しない講義 定員なし

6. 受講料

3,000円／1講義 ※データ通信料は各自ご負担ください。

7. 申込方法

右の二次元バーコード又は下記URLの申込フォームからお申し込み下さい。

- ・二次元バーコード（右図）
- ・申込みフォーム（URL）：<https://forms.office.com/r/TT4EW1aDZp>



8. 募集締切

令和4年10月7日（金）17時まで

9. その他

本講習会の詳細については、ホームページをご覧ください。

- ・野生生物保全管理講習会（大学HP）：<https://www.obihiro.ac.jp/wildlifeconservation>

【連絡先】

国立大学法人北海道国立大学機構
帯広畜産大学
国際・地域連携課 地域連携係 松本
TEL: 0155-49-5236
E-mail: wildlife@obihiro.ac.jp

令和4年度 野生生物保全管理講習会 募集要項

人の活動は様々な面で野生生物に影響を与えており、種の減少・絶滅の主な要因となっています。一方で、野生生物による農畜産物への被害等、野生生物が人の活動に与える影響も少なくありません。特に十勝地方は農畜産業を基幹産業としており、人と野生生物がどのように関わっていくべきかが大きな課題となっています。

野生生物と人が共存し、持続可能で多様性のある社会を実現するために、野生生物の保全と管理における正しい知識と技術を身につけた人材を養成すべく、以下の内容でオンライン講習会を実施します。

なお、この講習会は、帯広畜産大学の学生も受講を予定しています。受講生の皆様と共に学ぶことで、学生の就職観の醸成と関連業態への理解がより深まることを期待しています。

※昨年まで実施していた野外実習は「野生生物野外調査講習会」として別途10月に実施し、本講習会では座学講義のみを実施いたしますのでご注意ください。

1. 募 集 人 員： ①グループワークを実施する講義 定員20名（別途学生10名）
※1機関につき原則として2名までといたします。
3名以上のご参加を希望される場合、事前にご相談下さい。
②グループワークを実施しない講義 定員なし
2. 講 習 内 容： 野生生物の保全管理に関する正しい知識と技術を習得する。
3. 本講習会を受講することで期待される効果：
 - (1) キャリアアップの参考となる幅広い基礎知識・基礎技術の習得（特に新規採用～中堅職員）
 - (2) 野生生物の保全・管理に関する、新たな事業展開及び効果的な保全管理計画策定のきっかけづくり
 - (3) 様々な企業、業種の方とのグループディスカッションを通じたコミュニケーション能力や合意形成能力の向上及び業種内・業種間のネットワーク構築
4. 対 象 者： ○環境コンサルタント等民間企業や行政機関において、野生生物の保全管理に関する業務を担当している方
○野生生物の保全管理に関する基本的な知識と技術の習得によるスキルアップを目指す方
5. 開 講 日 時： 11月 7日（月） 13:00～17:20
11月14日（月） 13:00～17:20
11月21日（月） 13:00～17:30

6. 実施場所： Zoomによるオンライン実施
7. 講義詳細： 別紙1及び2をご参照ください。
8. CPD認定： 希望される方には、一般社団法人建設コンサルタンツ協会CPD認定プログラム受講証明書を発行します。
※1講義毎に単位発行します。
9. 受講料： 3,000円/1講義
※データ通信料は各自ご負担ください。
10. 申込方法： 右の二次元バーコード又は下記URLの申込フォームからお申し込み下さい。
<https://forms.office.com/r/TT4EW1aDZp>
※申込フォームからのお申し込みが出来ない場合は、申込書データをお送りいたしますので、下記問合せ先へメールにてご連絡ください。
- 
11. 募集期間： 9月5日（月）9時から 10月7日（金）17時まで
12. 支払方法： 事務局でお申込み情報を確認したのち、受講決定と併せて受講料のお支払い方法についてご連絡いたします。
受講料の支払期間は受講決定時に別途ご案内いたします。
なお、受講料の支払期間後に受講をキャンセル（発熱等による受講キャンセルも含む）した場合、受講料の返金はいたしかねますのでご了承ください。
13. その他： ・受講にあたっての注意事項等は受講料のお支払方法と併せてご連絡いたします。
・座学はオンラインで実施しますので、パソコンのカメラ・マイク及びスピーカー機能が必要となります。動画等の視聴も行いますので、動画が滑らかに視聴できる通信環境で受講してください。
14. お問い合わせ先： 〒080-8555 帯広市稲田町西2線11番地
帯広畜産大学 国際・地域連携課 地域連携係
TEL：0155-49-5236 E-mail：wildlife@obihiro.ac.jp

【個人情報の取扱いについて】

- (1) 帯広畜産大学が保有する個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「北海道国立大学機構保有個人情報管理規程」に基づき、保護に万全を期しています。
- (2) 応募時にお知らせいただいた氏名、住所等の個人情報については、受講者選抜、受講に関する連絡等の業務を行うためにのみ利用します。

オンライン講義日程

日程		時間	講義名	講師	定員	分野
11/7	13:00~14:00	1	十勝の自然と野生生物入門	帯広畜産大学 柳川久	無	共通
	14:10~15:40	1.5	十勝の野生生物と管理	みどりと花のセンター 大熊勲 北海道総合研究機構 山口沙耶	無	管理
	15:50~17:20	1.5	野外調査のリスク管理 ※グループワーク	帯広畜産大学 浅利裕伸	有	共通
11/14	13:00~14:30	1.5	外来生物と生物多様性 ※グループワーク	帯広畜産大学 浅利裕伸	有	保全
	14:40~16:10	1.5	十勝の野生生物と保全	帯広畜産大学 浅利裕伸 北海道ラプターコンサーション 平井克亥	無	保全
	16:20~17:20	1	野生生物管理のための法律学	帯広畜産大学 野原香織 十勝総合振興局環境生活課 宮崎広幸	無	共通
11/21	13:00~15:00	2	インタープリテーション実習~効果的な伝え方~ ※グループワーク	株式会社自然教育研究センター	有	共通
	15:10~16:10	1	希少植物の保全	帯広畜産大学 佐藤雅俊	無	共通
	16:20~17:20	1	水生生物の保全	NPO 法人環境把握推進ネットワーク	無	保全
	17:20~17:30	—	閉会式	※「水生生物の保全」を受講される方は、閉会式にもご出席ください。	—	—

講義内容（共通分野）

講義名称	講義内容	時間	定員
十勝の自然と野生生物入門	本講習会の目的について説明するとともに、野生生物の保全と管理の必要性や考え方を紹介する。	1h	無
野生生物管理のための法律学	「動物の愛護及び管理に関する法律」や「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」等関連法規の基礎知識に加え、鳥獣捕獲の許可申請について、申請の流れや必要な添付書類、注意点を学ぶ。	1h	無
野外調査のリスク管理	危険生物との遭遇や危険な場所での作業等、野外調査に伴う多くのリスクへの対応について、グループワーキングを交えて学ぶ。	1.5h	20名
外来生物と生物多様性	国内外の外来種問題を事例に挙げながら、外来種の侵入防止や拡大防止についてグループワーキングを交えて学ぶ。	1.5h	20名
インタープリテーション実習～効果的な伝え方～	野生生物の保全管理を行う上で収集した情報（生態、個体数等）を的確かつ適切に活用するために、得られた情報を地域住民や顧客に対して効果的に伝達する手法を学ぶ。	2h	20名
計		7h	

講義内容（保全分野）

講義名称	講義内容	時間	定員
十勝の野生生物と保全	防風林は十勝を代表する農地景観であり、ここに生息する野生生物は土地改良などによる影響を受ける。大きな影響が懸念される「樹上性哺乳類」と「猛禽類」について、十勝における生態と保全の考え方を学ぶ。	1.5h	無
希少植物の保全	希少植物の保全事例を紹介するとともに、保全の考え方を学ぶ。	1h	無
水生生物の保全	ニホンザリガニや希少な両生類の生態や保全事例を紹介するとともに、保全の考え方を学ぶ。	1h	無
計		3.5h	

講義内容（管理分野）

講義名称	講義内容	時間	定員
十勝の野生生物と管理	エゾシカやアライグマは十勝の農畜産業に対して大きな影響を与える。効果的な管理のため、これらの生態と被害の特徴、管理の考え方について学ぶ。	1.5h	無
計		1.5h	